

尼崎市教育委員会 7月定例会 議事録

1 開会及び閉会の日時

令和2年7月27日 午後3時40分～午後10時40分

2 出席委員及び欠席委員

出席委員等	教育長	松本 眞
	教育長職務代理者	磯田 雅司
	委員	仲島 正教
	委員	徳山 育弘
	委員	太田 垣亘世

3 出席した事務局職員等

教育次長	白畑 優
管理部長	梅山 耕一郎
施設担当部長	山口 泰範
学校教育部長	東 政信
事務局参与	北垣 裕之
学校給食担当部長	山木 聡
教育総合センター所長	平山 直樹
社会教育部長	安田 博之
企画管理課長	中島 章仁
幼稚園・高校企画推進担当課長	今井 八州男
学校教育課長	平岩 健太郎
社会教育課長	松田 陽子

日程第1 議事録の承認

日程第2 教育長の報告と委員協議

日程第3 議事

- (1) 議案第44号 令和2年度 教育委員会事務点検・評価報告書について
- (2) 議案第45号 職員の人事について
- (3) 議案第46号 令和3年度使用尼崎市立学校教科用図書の採択について
- (4) 議案第47号 尼崎市社会教育委員の解嘱について
- (5) 議案第48号 尼崎市社会教育委員の委嘱について

午後3時40分、教育長は開会を宣した。

松本教育長

本日の日程につきましては、配布いたしております日程表のとおりです。

日程第3「議事」の「議案第45号 職員の人事について」は、会議規則第6条の2第1項第1号、すなわち『教育委員会に属する職員の任免その他の身分取扱に関する事件』に該当するため、公開しないことが適当であると考えますが、いかがでしょうか。

教育委員 異議なし

松本教育長 異議なしと認めます。よって、「議案第45号」は、会議規則第6条の2第1項第1号に該当するため、公開しないことと決しました。また、日程第3「議事」の「議案第47号 尼崎市社会教育委員の解嘱について」及び「議案第48号 尼崎市社会教育委員の委嘱について」は、個人情報にまで踏み込んで審議することとなりますので、公開しないことが適当であると考えますが、いかがでしょうか。

教育委員 異議なし

松本教育長 異議なしと認めます。よって、「議案第47号」及び「議案第48号」は、会議規則第6条の2第1項第4号、すなわち『教育長または委員から会議の公開が不相当であるとの発議のあった事件』に該当するため、公開しないことと決しました。なお、公開しないことと決しました案件については、日程第1の「議事録の承認」の前に審議することといたします。まず、非公開案件を審議することといたしますので、議案関係者以外のご退席ください。また、傍聴の方は、一度ご退席願います。

~~~~ 「議案第45号」「議案第47号」「議案第48号」の議事の要旨は非公開とする~~~~  
(「議案第45号」の内容については、職員課が別途作成)

松本教育長 ここからは公開としますので、傍聴の方をご案内願います。

松本教育長 議事を再開いたします。次に、日程第1の「議事録の承認」に移ります。報告を求めます。中島企画管理課長。

企画管理課長 企画管理課長でございます。6月定例会の議事録につきましては、先般ご送付いたしておりますとおりでございます。よろしくお願いたします。

松本教育長 報告は終わりました。報告内容に質疑はありませんか。

松本教育長 質疑がないようですので、これよりお諮りいたします。6月定例会の議事録を、報告のとおり承認することに異議ございませんか。

教育委員 異議なし

松本教育長 異議なしと認めます。よって議事録は、報告のとおり承認することにいたします。次に、日程第2「教育長の報告と委員協議」に移ります。報告を求めます。中島企画管理課長。

企画管理課長 企画管理課長でございます。「教育委員会7月定例会報告事項」について、ご報告いたします。お手元の資料、19ページをお開き願います。まず、総務関係でございま

す。7月13日に第1回目の総合教育会議がございました。また、7月21日には文教委員会の初協議会があり、先日の教育委員会7月臨時会で報告し承認をいただきました、7月補正予算の審議のほか、教育委員会事務局の役職者の紹介や今年度の主要事務事業の説明等を行いました。次に、学校教育関係でございます。7月2日及び4日に、学校給食センター整備運営事業の進捗状況について地元説明会を行いました。続いて、社会教育関係でございます。6月26日に伊丹市立図書館ことば蔵へ視察に行きました。また、7月1日に下坂部小学校で、7月10日に立花南小学校で学校運営協議会、いわゆるコミュニティスクールがスタートしました。最後に、8月の主要行事予定表でございますが、第2回教育委員協議会につきましては、8月11日15時30分から、8月教育委員会定例会につきましては、8月24日15時30分から開催いたします。また、8月20日から21日にかけて、兵庫県市町村教育委員会連合会が主催する全県夏季教育委員会研修会がホテル北野プラザ六甲荘で開催される予定です。ただし、コロナの状況に応じて中止となる可能性がある旨、事務局より事前に連絡をいただいておりますので、正式な通知文が届きましたら、改めてご連絡させていただきます。報告は、以上でございます。

松本教育長 報告は終わりました。これより質疑に移ります。発言はございませんか。

松本教育長 学校給食センターの進捗状況の説明をお願いします。

学校給食担当部長 教育委員会8月定例会で報告させていただく予定でございますが、学校給食センターは、建築基準法上は「工場」として取扱われます。住居系用途地域に工場を建てることができないことから、建築基準法の特例許可が必要であり、その場合に公益上必要であることや、やむを得ない場合で、周辺環境への影響がないと認められた場合に、建築審査会が同意したうえで許可を与えることができます。若草中学校跡地の運動場に建築予定でありますことから、例えば、「臭い」や「車」そういった周辺環境へ影響がないかの調査を行いまして、7月2日及び4日に建設地周辺の概ね100m以内にお住まいの方等へ説明会を行いました。主な意見としましては、「車が渋滞するのではないか」「臭いが大丈夫か」「夜間照明等を設置してほしい」等のご意見がありました。車の方は、運送会社の営業所が敷地南側にあり、朝8時頃は多く車の出入りがありますが、給食センターの配送は学校が始まってからとなることから9時以降となり、戻ってくるのが5時頃となるので一定影響はないと説明させていただきました。臭いの方は、南側に菓子製造工場があり、「甘い臭いでもずっと嗅いでいると気になる」との意見もあり、また、あらかじめ想定もしておりましたので、給食センターは、活性炭の脱臭装置を設置し臭気対策をすると説明いたしました。臭いは、人によっては敏感な部分もありますので、市街地で建てている他の給食センターでも同様の臭気対策をしているという調査もしておりましたし、事業者からの提案もありましたので、そのような対策をすると説明しました。また、本日、法的な手続きとして公聴会があり、給食センターが建つにあたっての反対意見は、特にございませんでした。8月18日に、建築指導課が建築審査会でこれまでの取組みや公聴会の意見を踏まえ説明し、特に問題がなければ、建築審査会の同意を得て、9月に工事説明会、10月に建設工事

着工の予定でございます。以上でございます。

礪田委員 配送車が出ていくのは、学校があった南側の東西一方通行の道路ですか。

学校給食担当部長 そうです。入るのは園田橋線を北からでございます。

礪田委員 車の影響はそこまでなさそうですね。

学校給食担当部長 給食センターは、不特定多数の人が出入りする施設ではなく、決まった業者車両が、決まった時間に出入りするもので、車両出入りも分散しておりますので大きい影響はございません。

徳山委員 配送業者車両の台数は何台か。

学校給食担当部長 10台です。17校ございますので、4回行きます。イメージとしましては、朝は1台で2校分の食器を持っていきます。次に午前中に出来あがった2校分を持っていきます。回収は1校毎に行きます。

徳山委員 建設が完成したら見学に行きたい。

松本教育長 他に質疑はございませんか。

松本教育長 質疑がないようですので、教育長からの報告を終わります。次に、日程第3「議事」の「議案第44号 令和2年度 教育委員会事務点検・評価報告書について」を議題とします。提案理由の説明を求めます。中島企画管理課長。

企画管理課長 企画管理課長でございます。議案第44号「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」について、ご説明申し上げます。恐れ入りますが、お手元の資料の議44をお願いいたします。本案は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、前年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価した結果を報告するものでございます。それでは、右肩に別紙と記載のあるカラー刷り冊子「令和2年度 教育委員会事務点検・評価報告書」をお願いいたします。報告書の内容については、以前にもご説明しており、内容が重複するため、本日は、5月11日開催の教育委員会平場にて教育委員の皆様からいただいたご意見への対応結果を中心にご説明させていただきます。右肩に参考資料と記載のあるA4横長資料「5月教育委員会（平場）での教育委員意見及び対応結果」をご覧ください。まず、No.1は、報告書13ページの「施策名：就学前教育のあり方の検討」でございます。教育委員意見といたしまして、「課題の項目に記載のある「ニーズ」が、どのようなニーズかを具体的に記載すること。」というご意見をいただきました。こちらにつきましては、カラー刷り冊子の13ページ下段に記載の施策の〔課題〕の項目の下線部のとおり「平成24年の尼崎市立幼稚園教育振興プログラム策定時とは、

就学前教育を取り巻く状況や共働き世帯の増加により保育のニーズが急激に変化しており、・・・」と記載することで、ご意見のとおり修正しております。続きまして、A4横長参考資料のNo.2は、報告書20ページの「施策名：未来の学び研究事業」でございます。教育委員意見といたしまして、「新学習指導要領を踏まえ、「プログラミング教育」という文言も入れた記載にすること。」というご意見をいただきました。こちらにつきましては、カラー刷り冊子の20ページに記載の施策の〔令和2年度の取組方針〕の項目の下線部のとおり「ICT活用研究部会およびSTEAM教育研究部会において、プログラミング教育におけるICT機器等を活用した効果的な学習モデル等の研究を行う。・・・」と記載することで、ご意見のとおり修正しております。続きまして、参考資料のNo.3は、報告書38ページの「施策名：学校における危機管理」でございます。こちらにつきましては、カラー刷り冊子の38ページに記載の施策名を原案では「学校における危機管理」としていたものを、教育委員意見のとおり「学校環境における危機管理」と修正しております。続きまして、参考資料のNo.4は、報告書44ページの「施策名：スクール・サポート・スタッフの配置」でございます。教育委員意見といたしまして、「スクール・サポート・スタッフが学校スタッフの一員として、教職員と一体となった役割を果たしていることがわかる記載にすること。」というご意見をいただきました。こちらにつきましては、カラー刷り冊子の44ページに記載の施策の〔取組と成果〕の項目において、4行目下線部のとおり「教員の授業準備等の一部をスクール・サポート・スタッフが担う」といった表現や、さらに2行下の「スクール・サポート・スタッフが補助的にサポートを行うことで、教頭が本来すべき業務に取り組むことができた。」といった表現に改めることで、よりスクール・サポート・スタッフが教職員と一体となった役割を果たしていることが伝わるように修正をしております。続きまして、参考資料のNo.5は、報告書47ページの「施策名：人権啓発活動・リーダー育成事業」でございます。教育委員意見といたしまして、「目的の項目の中に、「自己肯定感」や「多様性」というキーワードを入れること。」というご意見をいただきました。こちらにつきましては、カラー刷り冊子の47ページ下段に記載の施策の〔目的〕の項目の下線部のとおり「基本的人権が尊重される地域社会の形成に向け、自己肯定感を育むとともに、多様性（ダイバーシティ）についての理解を深め、互いを尊重する人権意識の高揚・定着を図る。・・・」と記載することで、ご意見のとおり修正しております。最後に、参考資料のNo.6は、全体にかかる意見といたしまして、「新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた取組方針について、各施策・事業の中で可能な限り反映させること。」というご意見をいただきました。こちらにつきましては、カラー刷り冊子の19ページ上段の「体力・運動能力の向上、26ページ上段の「いじめ対応」、40ページの「教育ICT環境の整備」及び54ページ上段の「図書館運営方針の策定」において、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた取組方針を記載するよう、下線部のとおり修正をしております。以上が、教育委員の皆様からいただいたご意見を踏まえた変更点でございます。そのほか、本市の施策評価表の作成にあたり、市長部局と協議を進める中で、全庁的な文言の統一の観点から一部表現に修正を加えた箇所もございますが、大きな方向性に影響はないため、個別のご説明は割愛させていただきます。以上、簡単ではございますが、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」についての説明を終わらせていただきます。よろし

く、ご審議賜りますよう、お願い申し上げます。

松本教育長 説明は終わりました。これより質疑に移ります。発言はございませんか。

松本教育長 質疑がないようですので、これより採決に入ります。お諮りいたします。「議案第44号」を、原案のとおり可決することに異議ございませんか。

教育委員 異議なし

松本教育長 異議なしと認めます。よって、「議案第44号」は原案のとおり可決いたしました。ここで、職員の入替えを行います。

松本教育長 議事を再開いたします。次に、「議案第46号 令和3年度使用尼崎市立学校教科用図書採択について」を議題とします。提案理由の説明を求めます。平岩学校教育課長。

学校教育課長 学校教育課長でございます。それでは、「令和3年度使用尼崎市立学校教科用図書の採択について」をご説明させていただきます。5月の教育委員会で決定されました『教科用図書採択に関する基本方針』に基づき、義務教育諸学校用教科用図書につきましては、7月3日までの間に、各高等学校につきましても、7月3日までの間に選定委員会が開かれ、令和3年度に使用する教科用図書について調査・研究いたしました。お手元の資料は、選定委員会の審議を経て作成された報告書並びに、申請書です。本日は、この資料に従ってご説明いたしますので、ご審議いただき、令和3年度に尼崎市立学校で使用する教科用図書を採択いただきますようお願いいたします。まず、各高等学校の教科用図書について幼稚園・高校企画推進担当より説明いたします。

幼稚園・高校企画推進担当課長 幼稚園・高校企画推進担当課長でございます。市立高等学校及び特別支援学校高等部使用の教科用図書の選定についてご説明申し上げます。高等学校の場合は、学校ごとに選定委員会を設置し、教科書を選び、選んだ教科書について教育委員会に申請する形を取っております。では、表紙をおめくりください。表紙裏面1ページに、『採択に関する基本方針』並びに、各校の教育課程をまとめております。また、2ページから20ページには、各校が申請した教科書を掲載しております。各学校の選定委員会では、設定した『選定方針』に従い、教科書を調査しそれぞれの教育課程に適した教科書を選定しております。各校が申請した教科書のうち、特徴的なものを中心にご説明させていただきます。2ページから5ページは、尼崎高等学校が、申請している教科書の一覧です。2ページの上に『選定方針』。その下の一覧表は、学年ごと、教科・種目ごとに記載しております。一番右の欄「選定理由」のところに『○印』がついているものは、教科書検定により教科書の内容が改訂されたものや、昨年度から変更したものです。尼崎高等学校では進学希望が多い実態を踏まえ、やや発展的な内容を含み、進学指導に適した内容の教科書を選定しています。また、普通科と体育科ではカリキュラムが異なりますことから、教科によっては、異なる教科書を選定してい

ます。尼崎高等学校で選定した教科書のうち、特徴的なものとして、1年生で使用する理科の教科書をご紹介します。2ページのNo.9、10、11をご覧ください。No.9、数研出版の『科学と人間生活 暮らしの中のサイエンス』は1年生体育科で使用します。No.10、11の「改訂版 物理基礎」「改訂版 生物基礎」は1年生普通科で使用します。体育科においては、分かりやすさと応用分野に進む生徒へも対応できること、普通科においては、基礎の定着から応用力養成と受験指導につながることなど、それぞれの特色に応じて選定されております。尼崎高校の説明は以上でございます。続きまして、6ページから14ページには、尼崎双星高等学校が、申請している教科書の一覧です。尼崎双星高校の特徴は、普通科、商業学科、ものづくり機械科、電気情報科があることです。普通科だけではなく、商業学科、工業科があることで、それぞれの専門分野に適した教科書が必要であり、選定される教科書も多数になっております。それでは、普通科で選定した教科書のうち、1年生で使用する数学、理科の教科書についてご説明いたします。6ページのNo.4、5をご覧ください。No.4は、数研出版の「改訂版 高等学校 数学A」は、簡潔、丁寧で難易度も適切であり、生徒の興味・関心・意欲・適性・能力等を考慮した選定がおこなわれています。また、No.5の、東京書籍の「改訂 新編物理基礎」は、日常生活の事象を参考にして法則性を理解させることや、単元毎に興味を喚起するよう表題を疑問形にするなど、学習がしやすい工夫がされています。1年生は理系・文系に分かれておりませんので、生徒の興味をひきやすい内容のものを選定しています。続きまして専門学科の教科書についてご説明いたします。7ページをご覧ください。No.20の『機械工作1』は、ものづくり機械科の生徒が3年間使用します。この教科書は、機械材料に関する基本的な知識や技術について理解しやすく、ものづくり機械科の進路につながった指導ができる教科書です。続きまして、No.23をご覧ください。電気情報科の1年生が使用する教科書です。『情報技術基礎』は、プログラム言語やワープロ、表計算、図形処理などの例題が多く掲載され、実習導入の興味・意識づけに適していることから選定されています。続きまして8ページのNo.28をご覧ください。商業科の1年生から2年生が使用する教科書です。『新簿記』は、初めて学ぶ生徒にとって簿記の諸原理が理解されやすいよう工夫されています。また、わかりやすい事例が紹介されており、困難な事項の理解に役立つことから、選定されています。尼崎双星高校の説明は以上でございます。続きまして、15ページから17ページは、琴ノ浦高等学校が、申請している教科書の一覧です。定時制の琴ノ浦高校の学習におきましては、「基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る」ことに重点を置き、教科書も「わかりやすさ」に重点を置いて選んでおります。15ページのNo.10、11、12、13をご覧ください。数学の教科書で、それぞれ1、2、3年生が使用するものです。1年生から2年生に要点がわかりやすく、図表も工夫され効果の期待できる、No.10の数研出版『改訂版 新高校の数学I』を使用し学習をすすめ、2年生では、中学校で学んだ重要内容が含まれる、No.11の数研出版『改訂版 新 数学A』を用い、学習効果を定着させます。3年生では、No.10の発展的学習として、No.12の『改訂版 新 高校の数学II』を使用し、わかりやすく展開されています。そして最終学年では、No.13の『数学活用』を使い、1、2年生で学習したことを活かし、実生活に即した、生徒にとって有用な内容を学びます。1年生から最終学年を通じて、取り組みやすい内容から入り、身近

な生活に関わる力を身に付けていくような教科書を用い、系統立てた指導ができる選定となっています。なお、琴ノ浦高校は、2年生より「普通科系列」「商業系列」「工業機械系列」「工業電気系列」に分かれますので、専門学科の教科書も使用いたします。琴ノ浦高校の説明は以上でございます。最後に、18ページから20ページの、あまよう特別支援学校高等部の教科書について説明いたします。あまよう特別支援学校高等部では、他の高等学校と同様に「検定教科書」を使用するものの、年々重度・重複障害を有する生徒が増加する傾向にあることから、生徒一人一人の特性に応じた教科書として、「一般図書」も選定しております。18ページのNo.1をご覧ください。令和2年度は、検定教科書を使用する生徒がいないため該当者なしとなっておりましたが、令和3年度は、1年生で検定教科書を使用する生徒がおります。第一学習社『高等学校 改訂版 新編国語総合』、ユバーサルデザインにより、文字の大きさや行間が広くとられ見やすく、また、現代文、古文、漢文の関連性が重視され、学習効果が期待される教科書として、選定されました。続きまして、20ページのNo.19は一般図書でございます。金の星社が発行している『おもいやりの絵本』は、人の気持ちや生活する上での常識、言葉遣いなど、身近な事柄をテーマに学習でき、実際の生活の場面で役立てられることから、教科書として有効です。以上で高等学校用の教科書として選定されたものについての説明を終わります。どうぞよろしくお願いいたします。

松本教育長 説明がありましたが、高等学校用の教科用図書についていかがでしょうか。

磯田委員 各学校の選定委員の構成は。

幼稚園・高校企画推進担当 現職の管理職が1名、教員が2名、外部から4名の計7名でございます。

松本教育長 教科ごとか。

幼稚園・高校企画推進担当 学校ごとでございます。

磯田委員 外部の方の4名には保護者の方が入っておられるか。

幼稚園・高校企画推進担当 保護者の方や元校長先生等が入っております。

磯田委員 つまりは、それぞれの学校の実情を十分理解されている方が入っている理解でよろしかったか。

幼稚園・高校企画推進担当 仰る通りでございます。

仲島委員 日本史AとBの違いは。

幼稚園・高校企画推進担当 日本史Aは、広く浅くの勉強内容となります。日本史Bは、大学入試に関わる深い勉強内容となります。

仲島委員 3年生の地歴の日本史、普通科がAで体育科はBですが、よいのか。

幼稚園・高校企画推進担当 地歴の単位を取るうえで、世界史・日本史は取らないといけないと学習指導要領にありまして、2年生のうちからBを取っており、継続して2年3年と、もう一つ地歴を取らないといけないためAを取るものです。進学する者、しない者に関わらず、AもBも選択しなければなりません。

松本教育長 他に質疑はございませんか。

松本教育長 質疑がないようですので、高等学校用の教科用図書について、報告のとおり採択することによろしいでしょうか。

教育委員 異議なし

松本教育長 異議なしと認めます。高等学校用の教科用図書については報告のとおり採択いたします。次に、義務教育諸学校の教科書について説明を求めます。平岩学校教育課長。

学校教育課長 学校教育課長でございます。次に、義務教育諸学校の教科用図書について説明いたします。資料は、「令和3年度使用尼崎市立義務教育諸学校教科用図書の採択に係る資料」をご用意ください。表紙にありますように、1ページに「基本方針」、2ページに「令和2年度使用教科用図書一覧表（小学校・中学校）」、3ページから23ページにかけて、中学校の各教科用図書、24ページから51ページにかけて、特別支援学級、あまよう特別支援学校小学部・中学部において使用される「一般図書」を載せております。では、それぞれについてご説明いたします。

まず、中学校「国語」についてご説明いたします。それでは、3年生の教科書を中心に、発行者順に説明いたします。

東京書籍です。169ページをご覧ください。てびきにある、「言葉の力」では、読み解く力を向上させるように作られています。單元ごとにどのような「言葉の力」を身につけるのかが明記されており、生徒にはゴールが分かりやすいような構成になっています。63ページをご覧ください。他教科との関連のマークがあるところは、国語科で学んだことを他教科の学習に生かすことができます。

三省堂です。176ページをご覧ください。「学びの道しるべ」では、まず目標があり、「内容を整理する」→「読み深める」→「自分の考えを整理する」→「学びを振り返る」という4段階の流れで構成されています。単元の振り返りに「振り返りのキーワード」が明記されており、学習した内容が明確になります。178ページをご覧ください。「読み方を学ぼう」で、「反復」がテーマとして設定されており、「反復」の効果が教材を通して学ぶことができます。様々な読むポイントを習得させることが、読み解く力を伸ばすことに効果的であると考えます。

教育出版です。2ページ目次をご覧ください。「自然/環境/科学」「人権/多様性/平

和」などと、作品の内容ジャンルで章立てしているのは、教育出版だけです。178ページをご覧ください。「学びナビ」→「本文」という構成になっており、見通しをもって学習を進めることができます。しかし、教材の前に見開き2ページにわたって「読みの扉を開く」「こう読み深めよう」と展開されていますが、量が多く、時間を要することが懸念されます。

光村図書出版です。112ページをご覧ください。学習のてびきは、「見通しをもつ」→「捉える」→「読み深める」→「考えをもつ」→「振り返る」という5段階の流れが統一されています。「学習の窓」では、読み解く力を向上させるように作られています。巻末にある「文学的な作品を読むために」とも関連付けられています。太字や色の変化などによって目に留まる工夫はされていますが、ページの下半分を2ページにわたって展開しているため、少し読みにくい印象を受けます。

説明は以上です。中学校「国語」の教科用図書について審議していただき、いずれかの教科用図書の採択をお願いいたします。

松本教育長 説明は終わりました。これより質疑に移ります。発言はございませんか。

磯田委員 題材についての特徴を説明してください。

学校教育課長 各者の、説明的文章、文学的文章、古文、漢文の作品をみると、東京書籍は、古典的な作家や近現代の作品を、教育出版は、全体的に古典的な作品を、光村図書出版は、現代的な作家の作品を多く取り扱っています。他者に比べると、三省堂は、芥川龍之介や夏目漱石などの古典的な作品を取り扱う一方で、宮下奈都や森山直太朗、又吉直樹などの現代に活躍する著名人の文章や作品を取り扱っており、過去と現代の作家の作品をバランス良く取り扱っています。そのような視点から考えると、生徒にとっても興味関心を持ちやすいように感じます。

松本教育長 題材については非常に重要と思います。古典的な分野中心か現代の分野中心かバランスよくか、我々としてもどのような考え方を持つべきかが大事。仲島委員、ご意見ありますか。

仲島委員 古典的なことは大事なので残してもらいたいと思う反面、現代的なことも入っていることもとても大事と思う。説明にあったように三省堂が、一番バランスが取れているかと思う。例えば、森下奈都、森山直太朗、又吉直樹は興味関心を持ちやすいですし、夏井いつきの俳句のことや、AKBやゆずの歌なども音楽と繋がりますし、バランスよく入っていると思う。ただ教育出版のロバート・キャンベル「ここにいる」や田丸雅智「ショートショート」は中学生にはぜひ学んでほしいと思った。

徳山委員 入試に関わる教材の取り扱いはどうか。

学校教育課長 小学校では扱われない漢文は、高校入試でよく出題されます。1年生から、漢文を読む順序を示す、「レ点」「一二点」「上下点」など、3種類の「返り点」の記号につい

て学びます。東京書籍の「漢文の読み方」1年の147ページですが、1ページだけで文字も小さく、生徒に定着させるためには、別のプリントを用意する必要があります。光村図書出版の「漢文を読む」1年174ページでは、1ページだけの展開で、説明の文章が大半を占めているため、生徒にとっては理解しにくいように感じます。教育出版の「漢文の読み方」1年126ページでは、1ページだけの展開で、例文の数も少ないため、初めて漢文の読み方を学ぶ生徒にとって手厚い学習内容とは言えない印象を受けます。最も充実しているのが、三省堂です。「訓読の仕方」1年136ページでは、見開き2ページで書かれており、例文も多く、文字もはっきり大きく書かれているなど、このページをしっかりと学習すれば、3年間を見通した力をつけることができると考えます。初めて訓読に触れる生徒に配慮がなされていると考えます。

松本教育長 指導要領の中で、「話す・聞く」「書く」「読む」「言葉」といった分野があるが、その観点からは、どのような違いがあるか。

学校教育課長 各者とも、すべての観点をバランスよく配置しており、学習内容には大きな差はありません。

太田垣委員 家庭学習で取り組むことを想定した視点からはどうか。

学校教育課長 各発行者とも各単元に「てびき」や「学びの道しるべ」というページがあり、生徒自身で見通しをもち、振り返りを行うことができます。また、各発行者ともQRコードなどの学習の助けになるものをつけており、ICTを活用した学びは想定されています。東京書籍は、Dマークが示されている教材があり、音声や映像を見ることができます。教育出版は、「まなびリンク」のマークがついております。光村図書出版も、動画や資料を見ることができます。三省堂も、学習の参考となる資料を見ることができます。その中で、古典教材で比べると、他の発行者では、古典の読み方の音声が出るのに対して、三省堂と教育出版は、ウェブサイト上で、原文と現代語訳を比べて見ることができ、古典が苦手な生徒でも一人での学習を進めやすい手立てだと考えます。

松本教育長 教材のバランスは、仲島委員の仰る通りバランス良く現代的なものから古典的なものまでを扱うことが、子どもたちの興味関心を引く観点からも良いと思う。また、学びやすさ、入試の観点からも漢文の丁寧な記載など、部会の意見も踏まえますと、本市の子どもたちにとっては、三省堂が望ましいと感じます。

松本教育長 他に質疑はございませんか。

松本教育長 質疑がないようですので、それでは、中学校「国語」の教科用図書について、採択します。これまでの審議を踏まえ、中学校の「国語」の教科用図書として、三省堂を採択することよろしいでしょうか。

教育委員 異議なし

松本教育長 異議なしと認めます。よって、中学校「国語」の教科用図書について、三省堂を採択します。続いて、「書写」について、説明を求めます。平岩学校教育課長。

学校教育課長 学校教育課長でございます。それでは、発行者番号順に説明いたします。  
東京書籍です。68ページをご覧ください。場面や目的に応じて書く例、大会出場申込書・図書カードが載っており、生徒がイメージを持ちやすいです。38ページをご覧ください。行書の部首練習を取り入れられているのは有効であると感じます。

三省堂です。110ページをご覧ください。巻末の毛筆補充教材は、同じ文字を「楷書」と「行書」が併記して書かれており、毛筆に苦手意識をもつ生徒にも取り組みやすくなっています。6ページをご覧ください。巻頭に自身の文字を書き残す教材があり、3年間の学びの足跡を残すことや自分の成長を振り返ることができる工夫がされています。

教育出版です。47ページをご覧ください。筆脈で穂先がどこを通るかが丁寧に書かれているため、生徒が書く際に意識をしやすくなっています。108ページをご覧ください。3年間の学習を確認できる「書写テスト」がついているのは特徴的です。

光村図書出版です。62ページをご覧ください。左右両ページに「楷書」と「行書」の手本を記載することで、生徒が主体的に課題を選択できるようになっています。105ページをご覧ください。中学生にとって身近な著名人の言葉が掲載されており、生徒の関心を高めています。

説明は以上です。中学校「書写」の教科用図書について審議していただき、いずれかの教科用図書の採択をお願いいたします。

松本教育長 説明は終わりました。これより質疑に移ります。発言はございませんか。

太田垣委員 日本の文化として、これから使う機会があるかと思うので重要な科目と思う。実際に生徒が文字を書く際の扱いやすさという視点からはいかがか。

学校教育課長 サイズを比べますと、東京書籍、教育出版は少し横幅が大きいのに対しまして、三省堂、光村図書出版がB5判となっており、机上で扱いやすいとの意見がありました。また、「毛筆」の手本のページを見ますと、光村図書出版42、43ページのとおり、1ページの中に情報量が多いと生徒が迷う懸念があり、その点からみて、光村図書出版は手本がシンプルで1ページの情報量も多すぎず、指導も焦点化しやすくなっています。

松本教育長 限られた時間の中で必要な点を教えることが重要だと思うが、例えば「行書」について学習する際の、各者の比較はどうか。

学校教育課長 「行書」は中学校で初めて学ぶのですが、東京書籍31ページをご覧ください。「楷書」と「行書」の特徴を説明するにあたり、「東」という文字を用いていますが、文字の画数が少ないので十分な説明ができていないように感じます。三省堂は、36ペー

ジをご覧ください。「実」と「結」という2文字を使って丁寧に説明していますが、かえって生徒の混乱を招く恐れがあり、また、練習に時間が要することが懸念されます。教育出版42ページをご覧ください。「和」という文字を用いていますが、筆順の変化が分かりづらく、十分に説明ができていないように感じます。光村図書出版54ページをご覧ください。「緑」という文字を用いて説明をしていますが、「行書」の特徴である、丸み・点画の連続・点画の変化・点画の省略・筆順の変化のすべてを網羅した「緑」を用いて学習することで、他の3者と比べると、生徒の理解を深めるためには非常に効果的と感じております。

磯田委員 最近、教科書にQRコードが入っているが、書写におけるQRコードの使い方は、どのような活用があるのか。また、どのような使い方が望ましいのか。

学校教育課長 書写については、すべての発行者QRコードがついております。QRコードは、学習内容を視覚的に捉えることができ、家庭で学習を進める際に有効的に活用できると思われれます。その中で、QRコードの数は、光村図書出版が最も多くなっています。他者が巻頭、巻末、裏表紙にQRコードを記載しているのに対して、光村図書出版は、手本が載っているそれぞれのページに記載されていることで、家庭での振り返りにより効果的であるとの意見がありました。

松本教育長 扱っている漢字は光村図書出版が、扱いやすさは三省堂と光村図書出版の評価が高く、QRコードは光村図書出版が優れているということですね。

松本教育長 他に質疑はございませんか。

松本教育長 質疑がないようですので、それでは、中学校「書写」の教科用図書について、採択します。これまでの審議を踏まえ、中学校の「書写」の教科用図書として、光村図書出版を採択することよろしいでしょうか。

教育委員 異議なし

松本教育長 異議なしと認めます。よって、中学校「書写」の教科用図書について、光村図書出版を採択します。続いて、「社会 地理」について、説明を求めます。平岩学校教育課長。

学校教育課長 学校教育課長でございます。それでは、発行者番号順に説明いたします。社会 地理の教科書をご覧ください。

東京書籍です。156ページをご覧ください。各章のはじめに、小学校で学習した写真や用語を掲載し、マーク等で示して学習を振り返る場面を設けるなど、小学校から中学校と系統的に学習できる工夫がされています。一方、他の3者と比べると、文字や写真の色が薄く、見えにくい部分があります。

教育出版です。13ページをご覧ください。「地理の窓」というコラムが、生徒の興

味関心をひく内容となっています。5ページ右下に、「まなびリンク」という2次元コードで学習に役立つさまざまな情報をウェブサイトで見ることができますが、サイトが多岐に渡っており情報量が多く、少し活用が難しい面があります。

帝国書院です。巻頭3ページをご覧ください。2次元コードが随所にあり、独自のコンテンツだけでなく、「NHK for school」といった外部の番組にもリンクされており、学習を助ける動画コンテンツが充実しています。今後、1人1台のタブレット端末導入に合わせて、その活用によって授業での幅も広がり、家庭学習にも生かせる手立てが設けられています。

日本文教出版です。204ページをご覧ください。「自由研究」というコラムで、大阪万博について取り扱っており、生徒の興味関心をひくことができます。95ページをご覧ください。学習のまとめでは、穴埋めで重要語句を確認する問題が中心となっており、社会科は暗記教科だという誤解を招く恐れがあります。

説明は以上です。中学校「社会 地理」の教科用図書について審議していただき、いずれかの教科用図書の採択をお願いいたします。

松本教育長 説明は終わりました。これより質疑に移ります。発言はございませんか。

太田垣委員 視覚的な点で、どのような違いがあるか。

学校教育課長 帝国書院の30ページをご覧ください。帝国書院は、写真、地図、グラフ、文字の印刷が鮮明で、資料の活用や読み取りに適しています。他者でありますと、東京書籍44ページ、教育出版32ページ、日本文教出版28ページが同じ地域となり、帝国書院が一番鮮明です。

松本教育長 学習のしやすさや、定着にあたっての振り返りとか、各者の工夫はどうか。

学校教育課長 単元ごとの振り返りのページで、帝国書院の106ページをご覧ください。単元を貫く「問い」が明示されており、重要語句などの基礎基本の事項を確認し、「写真を振り返ろう」で学習内容を視覚的に振り返ることができます。また、「地理的な見方・考え方」を働かせることを意識させながら、107ページの「作業1」「作業2」など、きめ細かな学習のステップを設定しています。これは、これからの社会を生き抜くための「学びに向かう力」を育成するうえで、有効な手立てだと考えております。東京書籍112、113ページ、教育出版104、105ページ、日本文教出版94、95ページと他の3者では、基本的な語句の確認はあるものの、帝国書院のような、きめ細かな学習のステップで振り返るような手立てはされていないです。

松本教育長 関心が持ちやすいという観点からの見やすさや、新学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」の観点からも帝国書院が優れているのですね。

松本教育長 他に質疑はございませんか。

松本教育長 質疑がないようですので、それでは、中学校「社会 地理」の教科用図書について、採択します。これまでの審議を踏まえ、中学校の「社会 地理」の教科用図書として、帝国書院を採択することによろしいでしょうか。

教育委員 異議なし

松本教育長 異議なしと認めます。よって、中学校「社会 地理」の教科用図書について、帝国書院を採択します。続いて、「社会 歴史」について、説明を求めます。平岩学校教育課長。

学校教育課長 学校教育課長でございます。それでは、発行者番号順に説明いたします。

東京書籍です。19ページをご覧ください。単元を貫く探究課題が設定されており、「問い」を軸に構造化されています。20ページの、1時間の学習の見通しを持たせる「学習課題」を冒頭に明示し、各資料が大きく掲載される工夫がされています。

教育出版です。2ページをご覧ください。小学校での人物や文化財中心の学習からスムーズに接続できるように、導入部が親しみやすい内容になるよう工夫されています。一方、巻頭4ページに「まなびリンク」という2次元コードで学習に役立つさまざまな情報をウェブサイトで見ることができますが、情報量が多く、活用が難しい面があります。

帝国書院です。48ページをご覧ください。単元の導入に「タイムトラベル」という見開きイラストのページを設け、その時代の様子を大きく掲載し、視覚的にイメージしやすいつくりとなっています。単元ごとの学習の振り返りでも、そのイラストを生かした構成となっています。

山川出版社です。48ページをご覧ください。高校の教科書との関連が示され、世界史を学ぶうえでは流れがわかりやすくなっております。一方、他者にはない内容も掲載されている分、使われている語句が多くなっているため、生徒の理解によって差が生じる可能性が考えられます。

日本文教出版です。40ページをご覧ください。小学校での既習事項、94ページに地理的分野との連携が示されており、横断的・系統的に学習を進める工夫がされています。23ページをご覧ください。一方、自分の言葉で表現することを促す学習活動を意識した内容となっていますが、課題がやや抽象的となっているため、深い学びにつながりにくいとの意見がございました。

育鵬社です。13ページから18ページの歴史の大きな流れを理解するため、「調べる」、290ページから293ページの「まとめる」といった問題解決型学習の配列がなされています。37ページをご覧ください。一方、毎時の振り返りでは、学習した内容の「説明」の課題に特化されています。

学び舎です。66ページをご覧ください。民衆視点の記述が数多く設定されていることが特徴的です。33ページをご覧ください。一方で、読み物教材として活用し、学びを深めることに重点が置かれているため、あえて太字や指示文が省略されていますが、かえって、学習内容が焦点化できない側面もあります。

説明は以上です。中学校「社会 歴史」の教科用図書について審議していただき、

いずれかの教科用図書の採択をお願いいたします。

松本教育長 説明は終わりました。質疑に移る前に、歴史分野の重要な視点は、それぞれの歴史の中での事象について、多面的・多角的な考察を通じた深い理解で、また、あくまでも学習者は生徒であり、「教科書「を」学ぶ」ではなく、「教科書「で」学ぶ」という視点で、教科書を選定していくことが重要であると考えております。この点について、まず、共通理解を図りたいと思います。よろしいでしょうか。

教育委員 異議なし。

松本教育長 では、質疑へ移ります。発言はございませんか。

磯田委員 先程、「地理」は帝国書院を採択したが、「地理」と「歴史」は並行して学習するということが、同じ発行者の方が良いのか。

学校教育課長 以前は、中1で「地理」、中2で「歴史」を学習する形が取られていましたが、現在は、中1・中2で、「地理」と「歴史」を平行して学習する形で進められています。その視点から考えると、「地理」と「歴史」は同じ発行者の方が、学び方が統一されており、生徒にとっては学びやすいと考えます。

徳山委員 学び舎は、民衆視点の記述が多く記載されているとのことですが、選定委員会では、この点についてどのような議論があったのか。

学校教育課長 学び舎は、民衆の視点に立った記述が中心となっており、他者の表記と比べると、ややバランスに偏りがある内容になっている感が否めません。また、他の教科書とは異なり、重要語句がゴシック体で表記されていないなど、読み物教材としては、読み応えのあるものですが、高校入試に向けた基礎的な「知識・技能」の習得についても考慮しなければならないことを勘案すると、本市の子どもたちが学習する教材としては、取り扱いが難しいと考えております。

太田垣委員 歴史の理解は、それぞれの立場によって見え方が異なると思います。様々な立場を配慮することが重要と考えますが、各者の記載はそのあたりバランス良く掲載されているのか。

学校教育課長 政治と民衆のくらしといった立場の視点で見れば、ほとんどの教科書が、同じようなバランスで記載されておりますが、学び舎については、民衆の視点に立った記述が中心となっております。

松本教育長 国語の教材の時同様、各単元で扱う中身に違いはあるか。

学校教育課長 各者、各単元の大きな違いはございませんが、例えば、先程申し上げた単元の導入

で、帝国書院は、「タイムトラベル」を設けています。例としまして、24、25ページでは、縄文時代と弥生時代の特徴を比べる教材ですが、見開きの大きなイラストで当時の様子を視覚的にイメージしやすくなっています。同単元で比較しますと、東京書籍31、32ページで、日本文教出版29、30ページで、教育出版30、32ページで同じように当時の様子を掲載しておりますが、いずれもページがまたがっており、イラストも比較的小さいです。帝国書院の導入にあるように、時代ごとにわかりやすいイラストを提示することで、時代の様子を俯瞰して比較することもでき、「歴史的な見方・考え方」を働かせる授業にも有効であると考えます。

徳山委員 山川出版社の内容は、高校の教科書と思うほど難易度が高いと思うが、どのような意見があったのか。

学校教育課長 山川出版社284ページをご覧ください。他者にはない内容が多く掲載されております。特に、世界史に関する記述を見ると、同単元で比較をしてみても、他者では触れない内容、人物名まで含まれており、本市の生徒が学ぶ内容としては非常に難しく感じます。

仲島委員 「地理」と「歴史」が同学年で平行して学習する形で進められているのであれば、同じ教科書会社の方が良いと思う。他社と大きな差がないのであれば、学び方が統一され、生徒にとっては学びやすいと思う。

松本教育長 他に質疑はございませんか。

松本教育長 質疑がないようですので、それでは、中学校「社会 歴史」の教科用図書について、採択します。これまでの審議を踏まえ、地理との連携や、イラストなどの観点から、本市の子どもたちにとって学びやすいという点で、中学校の「社会 歴史」の教科用図書として、帝国書院を採択することよろしいでしょうか。

教育委員 異議なし

松本教育長 異議なしと認めます。よって、中学校「社会 歴史」の教科用図書について、帝国書院を採択します。続いて、「社会 公民」について、説明を求めます。平岩学校教育課長。

学校教育課長 学校教育課長でございます。それでは、発行者番号順に説明いたします。社会 公民の教科書をご覧ください。

東京書籍です。45ページの「スキルアップ」や65ページの「みんなでチャレンジ」というコーナーが効果的に配置されており、「主体的・対話的で深い学び」につながる工夫がなされています。

教育出版です。巻頭のⅢ、Ⅳページをご覧ください。公民における具体的な「学び方」やノートづくりについて、きめ細かく説明されています。38、39ページご覧

ください。一方で、単元の導入の課題がやや抽象的で、生徒の興味関心をひくのが難しいとの意見がありました。

帝国書院です。65、66ページをご覧ください。各章の導入で「学習の前に」というページがあり、イラストから学習内容に関連した事項を探し出す活動が取り入れられています。この活動については、中学3年生という発達段階を考えると、やや平易ではないかとの意見がありました。

日本文教出版です。122、123ページをご覧ください。各編の導入にある「学習のはじめに」というページに、まんがで学習内容の見通しが、わかりやすく示されています。一方で、自分の言葉で表現することを促す学習活動を意識した構成となっておりますが、その前に、例えば「本文中から抜き出す」といった活動もあったほうが、学習しやすいとの意見がありました。

自由社です。14ページから17ページをご覧ください。「もっと知りたい」というコラムが多く配置されており、生徒の興味関心をひく仕掛けが取り入れられています。一方で、やや断定的な表現が散見されるとの意見がありました。

育鵬社です。203ページから209ページをご覧ください。社会科のまとめとして、レポートをまとめるための仕組みが設けられています。一方で、日本文教出版と同様、自分の言葉で表現することを促す学習活動を意識した構成となっており、きめ細かなステップがあったほうがよいとの意見がありました。

説明は以上です。中学校「社会 公民」の教科用図書について審議していただき、いずれかの教科用図書の採択をお願いいたします。

松本教育長 説明は終わりました。これより質疑に移ります。発言はございませんか。

松本教育長 本市の課題にあった教材という観点からはどうか。

学校教育課長 まず、「環境問題」の視点から比較すると、東京書籍62ページをご覧ください。人権を学ぶ単元「新しい人権」で、環境権について公害問題を写真付きで掲載していることから、本市の公害問題と関連付けて学びやすいと感じます。また、171、172ページの「公害の防止と環境の保全」では、右下の「チェック」で、「身近な地域に4のような公害があれば挙げましょう。」という問いがあり、改めて本市の公害問題について触れ、先人たちの努力も含め、環境への意識を高める機会として活用できる教材となっています。一方、他者をみると、教育出版、帝国書院なども環境問題を扱っている単元はありますが、語句の紹介にとどまっています。

仲島委員 帝国書院と東京書籍の違いのポイントはどこか。

学校教育課長 例えば、新しい学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」につながる工夫としましては、東京書籍では、38、39ページをご覧ください。憲法の学習の導入の、「ちがいのちがいがい」というコーナーで、グループワークで友達の考えを聞きながら自分の考えを再構築するような、より深く考えられる工夫がなされています。一方、帝国書院は、27、28ページをご覧ください。まちのイラストが大きく掲載され、学習内



- 教育委員 異議なし
- 松本教育長 異議なしと認めます。よって、中学校「社会 公民」の教科用図書について、東京書籍を採択します。続いて、「地図」について、説明を求めます。平岩学校教育課長。
- 学校教育課長 学校教育課長でございます。それでは、発行者番号順に説明いたします。社会 地図の教科書をご覧ください。
- 東京書籍です。31ページにアジア州、49ページにヨーロッパ州、73ページに北アメリカ州の各州には鳥瞰図を見開きで掲載していますが、すべての州にはありません。また、結びつきの強いヨーロッパ州全域とアフリカ州を同じ一般図に掲載している点が、帝国書院と比べて特徴的です。61ページでございます。
- 帝国書院です。サイズが、現行より縦に4センチ大きくなっています。25ページにアジア州、49ページにヨーロッパ州、68ページに南アメリカ州など、6州すべてに大きな鳥瞰図があり、イラストなども盛り込むことで、関心をひく工夫がなされています。また、「一般図」→「鳥瞰図(拡大図)」→「資料図」という配列が統一されており、生徒にとって分かりやすくなっています。
- 説明は以上です。中学校「地図」の教科用図書について審議していただき、いずれかの教科用図書の採択をお願いいたします
- 松本教育長 説明は終わりました。これより質疑に移ります。発言はございませんか。
- 太田垣委員 地図は見やすさが要になりますが、どのような違いがあるか。
- 学校教育課長 帝国書院の23ページをご覧ください。また、東京書籍の33ページをご覧ください。「中華人民共和国」という文字について、帝国書院は文字が白で囲まれ、太く見やすくなっています。また、統計資料について、帝国書院171ページ、東京書籍173ページをご覧ください。帝国書院は、地域ごとに色分けがされており、また、品目ごとのイラストが入っていて、活用しやすくなっています。資料を読み解く力、活用する力は、本市の子どもたちにとって、課題の一つでもありますので、できる限り、視覚的にもわかりやすく、親しみやすい内容であることが重要であると考えております。
- 磯田委員 教科書の大きさの視点からどうか。
- 学校教育課長 大きさに関しては、東京書籍がAB版に対して、帝国書院はA版でAB版を縦に4cm伸ばした形となっております。どの単元も広範囲を捉えることができ、同じ地域でもより大判の帝国書院の方が、見やすい印象は受けます。
- 仲島委員 東京書籍の方が重く感じる。

学校教育課長 帝国書院は、A版の現行版より1枚当たり15%軽い専用紙が使われていることで、東京書籍より大判になっている割に、それほど重くなっていません。

松本教育長 他に質疑はございませんか。

松本教育長 質疑がないようですので、それでは、中学校「地図」の教科用図書について、採択します。これまでの審議を踏まえ、中学校の「地図」の教科用図書として、帝国書院を採択することによろしいでしょうか。

教育委員 異議なし

松本教育長 異議なしと認めます。よって、中学校「地図」の教科用図書について、帝国書院を採択します。続いて、「数学」について、説明を求めます。平岩学校教育課長。

学校教育課長 学校教育課長でございます。それでは、1年生の教科書を中心に、発行者順に説明いたします。

東京書籍です。18、19ページをご覧ください。各章の導入事例が身近なものや既習事項を取り扱うことが多く、生徒の興味・関心を促すように工夫されています。55ページをご覧ください。各章ごとに「深い学び」のページがあり、多様な考えが出やすく、本市として力を入れている言語活動の充実が図られると考えられます。また、255ページ、巻末の「数学の自由研究」で、他教科に活用する問題、数学の有用性を実感できる問題や数学的な思考力・表現力を高めるための記述式問題があります。

大日本図書です。162、163ページをご覧ください。様々な分野への広がりを意識していますが、数学に興味を持つ生徒にとっては良いが、少し広がり過ぎではないかと感じます。

学校図書です。69ページをご覧ください。教科書で取り扱う問題のレベルが高い反面、文字式では穴抜き問題を使い思考の流れを明確にするなど、生徒の理解に合わせる工夫がされています。また、基本的な問題が豊富にあり、基礎学力の定着に配慮されています。ただ、正多面体の付録がついておらず、空間図形は特に実物を見て触ることが大事と考えますので、それができない分、生徒にとって少し分かりにくいという心配があります。

教育出版です。21ページをご覧ください。各章ごとに学習のまとめがあり、基本の定着が確認できます。また、その後に章のまとめの問題に取り掛かることができ、学習の定着を図ることができます。ただ、1ページあたりの内容が多いので、取りつきにくいと感じることや、314ページの付録の中にある正多面体を作成する過程の中で、糊を使用することになっており、作業が煩雑になり簡単に作成できないことが危惧されます。

啓林館です。巻頭をご覧ください。1年生の教科書では、算数から数学に切り替わるタイミングでもありますので、学び方やノートの使い方、メモの取り方等について丁寧に説明がされています。一方、巻末にある横向きのページでは、難易度の高い問

題を取り扱っていますが、体裁面も含め、使用してみないとその効果は分からないとの意見がありました。

数研出版です。別冊があり、互いに考えを出し合ったり、学び合ったりすることに適しています。また、巻末の読み物では、身の周りの数学を簡潔にまとめて、興味を引くような物を取り扱っています。98ページをご覧ください。ただ、本来生徒に考えさせるべき箇所が、教科書内の登場人物や吹き出しによって示されているので、誘導し過ぎではないかと考えております。

日本文教出版です。112ページをご覧ください。教科書を広げた際に、文字が読みやすい印象を受けました。読みやすい文字を使用しており、記載されている文字の量も適切であると感じます。また、色使いも良く、1年生の方程式では、数字とイラストを同色にし、一目で何の量を表しているかが分かるように工夫されています。

説明は以上です。中学校「数学」の教科用図書について審議していただき、いずれかの教科用図書の採択をお願いいたします

松本教育長 説明は終わりました。これより質疑に移ります。発言はございませんか。

太田垣委員 各者が扱う単元、領域、問題数等に違いは。

学校教育課長 各校の実情に合わせて、多少取り組む問題数を調整することはありますが、各者の教科書の学習内容の項目や領域に大きな違いはありません。その中で、本市の現状に合わせると、学校図書は、取り扱う問題のレベルが少し高いように思います。また、啓林館は、単元末に基本問題「学びを確かめよう」と応用問題「学びを身につけよう」が設定されています。52ページから55ページです。基本問題と応用問題が各々2ページあり、少し問題量が多いように感じます。一方、東京書籍は、58ページから60ページをご覧ください。内容が精選されており、練習問題の量も適度であり、節ごとの「基本問題」、章末の「章の問題A・B」は、生徒の理解に合わせて利用できようになっています。また、日本文教出版は、60、61ページをご覧ください。問題量も適度であり、レベル分けされていることから、生徒が自主的に学習するのに適していると感じます。

松本教育長 苦手意識のある数学は教科書だけでなく、準拠教材やワークシートもセットと思うが、各者の違いは。

学校教育課長 補助と言いますか、例えば、苦手意識を払拭するためのQRコードを使った補助資料で言いますと、東京書籍では、立体図形において、回転はもちろんですですが、展開図に表す時に好きところで立体を切り開いたり、また、展開図の状態から、生徒が指定した辺同士をくっつけることができたりして、正に立体を手にとって操作しているかのようにデジタルコンテンツが使えます。一方、他者のコンテンツは、立体図形を回転させることはできるようになっていますが、東京書籍のように自由に展開したり、展開図から立体へと変換したりすることはできない発行者が多いです。

松本教育長 東京書籍が、デジタルコンテンツが優れているということですね。デジタルコンテンツも取っ掛かりやすいという意味では大きいと思うが、苦手意識を持ちやすい教科と思うので、実生活との関連という観点からはどうか。

学校教育課長 実生活と数学の結びつきになるかと思いますが、各者とも、コラム形式で紹介しています。例えば、素因数分解では、暗号について触れたり、立体では、国内外問わず、特徴的な建造物の写真を掲載されたりしています。また、平面図形の作図で比較すると、東京書籍186ページでは、AED設置場所について、学校図書193ページや啓林館は、馬を連れて水を飲ませるために歩く距離について、数研出版168ページでは、魔法使いが隠した宝の在り処について取り扱っています。数学の学びを実生活につなげるという観点からみると、本市の生徒にとって実生活により近いのは、東京書籍が取り上げている例ではないかと思います。

松本教育長 これまでの説明を整理しますと、学校図書と教育出版は、レベルが高い。大日本図書は広がりすぎている。啓林館は、ノートの使い方とかの評価は良いが、問題量が多すぎる。数研出版は、別冊があるが、キャラクターが誘導しすぎ。日本文教出版は、問題量は適切。ただ、デジタルコンテンツの観点から見れば、東京書籍が圧倒的に良いという評価なのですね。

松本教育長 デジタルコンテンツが優れていることや、各章の導入事例も非常にわかりやすいことなど、本市にとって総合的には、東京書籍が良い評価ですね。

松本教育長 他に質疑はございませんか。

松本教育長 質疑がないようですので、それでは、中学校「数学」の教科用図書について、採択します。これまでの審議を踏まえ、中学校の「数学」の教科用図書として、東京書籍を採択することよろしいでしょうか。

教育委員 異議なし

松本教育長 異議なしと認めます。よって、中学校「数学」の教科用図書について、東京書籍を採択します。続いて、「理科」について、説明を求めます。平岩学校教育課長。

学校教育課長 学校教育課長でございます。それでは、2年生の教科書を中心に、発行者順に説明いたします。

東京書籍です。他の発行者に比べ、全体的に縦長サイズになっている点が特徴的です。これにより、実験手順を確認する際、視線が上から下へ流れるように提示されています。また、23ページに、視認性の高い「安全のための注意」マークを示すなど、安全に実験ができるように配慮されています。また、ページ数の多さの割に軽量化が図られる等の工夫がされていますが、独特なサイズによる違和感が否めない印象があります。

大日本図書です。78ページをご覧ください。単元の終わりに、各単元での単元末問題とは別に読解力問題が記載されており、言語活動の充実につながる内容になっています。

学校図書です。4ページからご覧ください。「理科のトリセツ」で、探究活動の進め方を分かりやすく提示しており、生徒が意見を出しやすくイメージを持ちやすいよう工夫された構成になっています。また、巻末のページに「まなボード」の代わりになるようなホワイトボードを模した話し合いツールの付録を付けるなど、問題解決的な活動が発展的に繰り返されていく、一連の学習活動の流れが工夫された内容となっています。

教育出版です。78ページからご覧ください。本文中の重要語句が朱書きされるなど、要点や重要語句を整理するための工夫や確認問題が豊富で、基礎基本の定着につながるような構成になっている点が特徴的です。

啓林館です。探究活動をサポートするためのツールとして補助教材「探Qシート」が準備されており、生徒が主体的に探究する力を育成するための工夫がされている点が特徴的です。また、コラムや補助資料とともにQRコードを使用したデジタルコンテンツが豊富で、他の単元の内容や他教科、部活動や食育、防災など多岐にわたって学習との関連が紹介されており、生徒の興味や関心を引く工夫が随所にされています。

説明は以上です。中学校「理科」の教科用図書について審議していただき、いずれかの教科用図書の採択をお願いいたします。

松本教育長 説明は終わりました。これより質疑に移ります。発言はございませんか。

太田垣委員 啓林館の「探Qシート」が面白いと思ったが、このような問題解決的な学習を進める観点からは各者どうか。

学校教育課長 各者とも問題解決的な学習の単元はありますが、啓林館の223ページをご覧ください。併せて、大日本図書167ページ、東京書籍254ページもご覧ください。電流の単元になりますが、生徒が「仮説」と「計画」を立てて問題解決的な活動をする際に役立つ、「探Qシート」という別冊のワークシートが用意されています。同単元の大日本図書、東京書籍と比べてみても、啓林館の教科書は、探求の流れがフローチャート化されており、生徒が主体的・対話的に取り組めるよう工夫されています。

徳山委員 QRコードについて各者特徴はあるか。

学校教育課長 東京書籍は、7ページの目次にQRコードと対応ページ一覧が明記されており、学習内容の関連サイトや同社他教科の教科書のページなどとリンクしています。大日本図書は、2ページにQRコードがあり、実験器具の使い方の説明が動画等で確認できるようになっています。学校図書は、57ページの各章末の自己チェック、その他解説が必要な各ページにQRコードがついています。教育出版は、目次にQRコードが記載されており、各対応ページの下にも「まなびリンク」マークがあり、関連サイトにつながるようになっています。啓林館は、223ページをご覧ください。図、解説、発展

内容など、学習内容を確認することができるようになっていきます。その中でも、啓林館は、デジタルコンテンツが充実していることから、ICT 活用の可能性を大きく感じられ、今後整備が予定されている生徒 1 人 1 台タブレット端末との親和性が高くなっており、生徒が学校や家庭において主体的に学習を進めるサポートにつながると考えます。

松本教育長 生徒が主体的・対話的に取り組めるよう工夫されていることや、デジタルコンテンツの充実などから総合的に啓林館が優位ですかね。

松本教育長 他に質疑はございませんか。

松本教育長 質疑がないようですので、それでは、中学校「理科」の教科用図書について、採択します。これまでの審議を踏まえ、中学校の「理科」の教科用図書として、啓林館を採択することよろしいでしょうか。

教育委員 異議なし

松本教育長 異議なしと認めます。よって、中学校「理科」の教科用図書について、啓林館を採択します。続いて、「音楽」について、説明を求めます。平岩学校教育課長。

学校教育課長 学校教育課長でございます。それでは、2・3年下の教科書を中心に、発行者順に説明いたします。

教育出版です。12ページをご覧ください。歌唱「花」について、ページをめくった先にも、題名が記されており、学習タイトルを常に見ることが出来るようになっていきます。ただし、楽譜や歌詞、作曲者についてのページが点在していたり、2・3年上の76ページに、歌唱「HEIWAの鐘」など、途中でページが変わっていたりすることで、学習の流れとして捉えにくいところがあります。

教育芸術社です。2・3年下の巻頭ページでの各界のプロフェッショナルから中学生へのメッセージの部分が特徴的です。授業での音楽と、生活の音楽とのつながりが深まります。10ページの歌唱「花」について、歌詞をイメージしやすい写真が詳しく掲載されており、教育出版の同単元と比べてみても、「歌詞」「歌詞の意味」「作曲者について」など、まとまって掲載されるなど、生徒が学ぶ上ではより効果的であると考えます。また、89ページに「音楽を形づくっている要素」を全学年の教科書に記載しており、また、その関連ページも示されていることから、生徒が常に意識できるように工夫されています。

説明は以上です。中学校「音楽」の教科用図書について審議していただき、いずれかの教科用図書の採択をお願いいたします。

松本教育長 説明は終わりました。これより質疑に移ります。発言はございませんか。

磯田委員 内容はともかく、先程から話題となっている QR コードについて、教育芸術社の QR

コードは、教科書に掲載されている著名人の個人ホームページにつながったり、自分のレコードを販売するようなところにアクセスしたりしているが、教科書としては適切なのか。どのような見解か。

学校教育課長

個人サイトにアクセスすることは認識しております。QRコードについては、音楽への興味関心を高めるなど、補助資料としての位置づけであると確認しております。その中で、先生が授業でより一層活用したり、また、興味を持った生徒がさらに進んで学ぶために活用することが考えられます。その際、教科書に取り上げられたアーティストの個人ホームページであることから、商業ベースのサイトになってしまう問題に関しては、さらに進んで学びたい生徒にとっては、当該アーティストの更なる情報を求めることは必然であり、仮に教科書のQRコードとの関連がなくても自分で調べて商業サイトを検索することはあり得ると考えます。また、QRコードを試しに検索した生徒が積極的に購入するとは考えにくいと認識しております。また、こうした情報に関わる取り扱いについての情報モラル教育やスマホ等に係る消費者教育については、今後推進する1人1台タブレット端末配置を見据えて必ず実施することとなり、情報についての取り扱いや判断などの情報リテラシー能力を育成することは必須となってきます。このことから、音楽への興味関心を高め、技能を高める学びにつながる本教科書を選択肢から除外することは適当ではないと考えます。

磯田委員

基本的には、文科省の検定を受けて通った教科書であることから一定配慮はされているとは思いますが、個人的には問題と思っている。課長の説明のとおり、ICT教育を進めていくうえで子どもたちへの注意喚起が必要になるだろうということ含め、学校現場の先生にも共有し指導監督すべき。例えば、理科や数学は、見やすいデジタルコンテンツを作成しているのに対し、このような安易なデジタルコンテンツを使われることはどうかと思うので、個人的に問題提起をさせていただく。

松本教育長

全体の制度の問題になると思うが、議論があったことは、県を通じて意見すべきと思う。

松本教育長

題材的には扱っている教材の中身や、時数が少ない音楽の中で、子どもたちが関心を持って取り組みやすいとか各者の特徴はあるか。

学校教育課長

例えば、教育出版については、日本の四季の美しさや暮らし、関わりが感じられるような写真が多数掲載されております。一方で教育芸術社については、生徒の興味をひくような写真やトピックが豊富である上に、指揮やリズムうちなど体験活動を通して、音楽を形づくっている要素の働きについての学びを深め、また、実感を伴う学びが進められるよう工夫されており、本市の生徒たちが学習を進めるにあたり適していると考えます。時数が少ない中で学習の展開としては、教育出版2・3年下の4、5ページの「学びのユニット」、教育芸術社2・3年下の8、9ページの「学習内容」では、両者とも学習のねらいや学習を深めるポイント等が示されていますが、教育出版の表現が少し抽象的なものに対して、教育芸術社は、「歌唱」「創作」「鑑賞」の観点が

端的にまとめられており、評価する基準も明確に示されていることから、教育芸術社の方が年間の見通しが立てやすいところがございます。また、教育出版と比べると、教育芸術社は、目次が見やすくなっています。

松本教育長 他に質疑はございませんか。

松本教育長 質疑がないようですので、それでは、中学校「音楽」の教科用図書について、採択します。これまでの審議を踏まえ、QRコードについては問題意識を持つということをご共有し、中学校の「音楽」の教科用図書として、教育芸術社を採択することによりよろしいでしょうか。

教育委員 異議なし

松本教育長 異議なしと認めます。よって、中学校「音楽」の教科用図書について、教育芸術社を採択します。続いて、「器楽」について、説明を求めます。平岩学校教育課長。

学校教育課長 学校教育課長でございます。それでは、発行者順に説明いたします。  
教育出版です。36ページをご覧ください。箏の扱いについてよく考えられた内容になっております。和楽器のなかでも扱いが多い箏について掲載が多く、実用的と考えております。製本については、糊付けされており、糸綴じに比べると開きづらいところがあります。巻末の折り込みページが設定されており、どのページを学習するときでも、「リコーダー」の運指を参照することができるよう工夫されています。また、12ページに「リコーダー」の写真が多く使われているなど、わかりやすい構成となっております。

教育芸術社です。40ページをご覧ください。まず、箏についてです。箏の楽譜において、縦譜が基本として示されており、教育出版の同単元と比べてみても、より本格的な学びができるよう工夫されています。また、40ページから「箏」と「琴」の違いについて掲載されていたり、いろいろな奏法について説明があったり、箏を使った創作ができるようになっているなど、いろいろな工夫がされており、生徒が学習しやすい構成となっております。製本については、糸綴じされているので開きやすく、実技にとりくんでいても途中で閉じてこないのも使用しやすい装丁となっております。16ページをご覧ください。「リコーダー」については、楽器の各部の名称が詳しく掲載されており、生徒に親しみのある名曲が示されています。49ページをご覧ください。「My Melody」等のようにプログラミングによって試行錯誤をすることを通して、まとまりのある音楽をつくることのできるよう工夫されています。

説明は以上です。中学校「器楽」の教科用図書について審議していただき、いずれかの教科用図書の採択をお願いいたします。

松本教育長 説明は終わりました。これより質疑に移ります。発言はございませんか。

徳山委員 中学校で箏の実技はあるのか。

- 仲島委員            尼崎市のある中学校の箏の演奏を聞いたことがある。とても良かったです。尼崎市は箏の実技をしているから、箏のことが分かりやすい方が良いと思う。
- 松本教育長            各学校にあるのですよね。
- 学校教育課長        本市では、各中学校2、3人にあたり1台保有しております。
- 太田垣委員           音楽と器楽は、同じ時間か。同じ時間であれば同発行者の方がよいか。
- 学校教育課長        音楽の時間の中に器楽の時間があります。過去には別の発行者で採択されたことがあったが、同発行者であった方が、内容、配列など、一貫性があり、学びやすいと思います。
- 磯田委員            音楽と同様、せっかく良い題材の教科書ではあるが、QRコードについては、ホームページを持っている作者は、そこにアクセスする。持っておられない作者のQRコードは、調べて作成されている。先程と同じ扱いをすべきと思う。
- 学校教育課長        同様の取り扱いを行います。
- 松本教育長           音楽と器楽の一貫性や、本市の学校教材に適している観点などから、教育芸術社が優位ですね。
- 松本教育長           他に質疑はございませんか。
- 松本教育長           質疑がないようですので、それでは、中学校「器楽」の教科用図書について、採択します。QRコードの問題については認識し、これまでの審議を踏まえ、中学校の「器楽」の教科用図書として、教育芸術社を採択することによろしいでしょうか。
- 教育委員            異議なし
- 松本教育長           異議なしと認めます。よって、中学校「器楽」の教科用図書について、教育芸術社を採択します。続いて、「美術」について、説明を求めます。平岩学校教育課長。
- 学校教育課長        学校教育課長でございます。それでは、発行者順に説明いたします。  
開隆堂出版です。中1と中2・3年の2冊になっております。1年生の49ページをご覧ください。生徒の作品を多く掲載し、活動の様子を分かりやすくすることで、生徒の制作意欲を高める工夫がされています。52ページをご覧ください。「学びの資料」は、技術的な内容がうまくまとめて紹介されています。2・3年の24ページに尼崎市出身の白髪一雄さんの作品をはじめ、本市に関する内容も多く取り扱っています。一方で、版が大きく生徒が机の上に置いたり、持ち運んだりするには少し不便さを

感じるかもしれません。また、1年5ページに教科書記載のマークの種類が多く、説明部分の字体が小さかったり、ルビが多かったりするところは、少し読みにくさを感じます。

光村図書出版です。中1と中2・3年の2冊になっております。1年24ページをご覧ください。制作時に生徒が理解しやすいように、作業の手順が文と写真で詳しく書かれています。1年19ページや、2・3年の37ページをご覧ください。紙質を変えたり、2・3年11ページにトレーシングペーパーをはさみこんであったりと工夫がされています。また、デザインに関する平面の作品が非常に多く掲載されていることが特徴的です。3者の中では、教科書の大きさが一番小さいサイズになっています。

日本文教出版です。中1で1冊、中2・3年上下で2冊、計3冊となっております。1年14ページをご覧ください。写真や図が大きく、文字も読みやすい印象を受けます。作品にインパクトがあり、発色が美しく、レイアウトに工夫が見られます。撥水加工がされている点も良いところです。主体的な学びを促すページが多くみられ、1年58ページ、「学びを支える資料」が細かく、ていねいに編集されています。全体を通して作品を鑑賞するという視点からみても色が一番きれいに出ている教科書であると感じます。

説明は以上です。中学校「美術」の教科用図書について審議していただき、いずれかの教科用図書の採択をお願いいたします。

松本教育長 説明は終わりました。これより質疑に移ります。発言はございませんか。

徳山委員 日本文教出版は、色が明るくて良いと感じる。

松本教育長 鑑賞や豊かな表現は非常に重要な観点と思うが、各者の比較はどうか。

学校教育課長 開隆堂出版は、1年「発見と創造」、2・3年「探究と継承」をテーマとして扉ページにそれぞれ高村光太郎、名古屋城の魅力等をメッセージや写真とともに掲載し、生徒を引きつける工夫がされています。光村図書出版は、2冊とも1ページ目に谷川俊太郎の詩と合わせて「うつくしき」について思いや考えを広げることができます。最初に鑑賞活動を提示することで、主体的かつ対話的に学習できるように示されています。その中でも、日本文教出版は、1年の初めての「美術」との出会いとして、1ページの見開きに親しみのあるアニメーションの背景面を載せ、多くの生徒の興味を引きつける工夫がされています。また、3冊の表紙や扉ページには、それぞれ全く違った美術作品が使われており、生徒が幅広く美術に親しむことができると考えます。

仲島委員 日本文教出版は、水戸岡鋭治さんの鉄道デザインや中井精也さんの鉄道写真等、幅広く載っており、興味を持つ子も多いと思う。ただ尼崎の学校を卒業している世界的な画家の白髪一雄さんの作品がない（開隆堂にはある）のが残念ではあるが、全体的には日本文教出版が良いと思う。

松本教育長 学習、学びという観点からはどうか。

学校教育課長 開隆堂出版は、1年10、11ページをご覧ください。3観点の目標が短い文章でやや形式的に掲載されています。光村図書出版の1年10、11ページは、表題の下に学習の目標があり、「鑑賞」と「表現」の活動の視点が書かれていますが、ややわかりにくいです。2者と比べると、日本文教出版は、1年12、13ページで、3観点に沿って具体的に書かれており、目標が、生徒自身が理解しやすい文章で表記されており、より主体的な学びにつながる手立てになっているように感じます。また、評価の観点としても活用しやすいと感じます。

松本教育長 他に質疑はございませんか。

松本教育長 質疑がないようですので、それでは、中学校「美術」の教科用図書について、採択します。これまでの審議を踏まえ、中学校の「美術」の教科用図書として、日本文教出版を採択することよろしいでしょうか。

教育委員 異議なし

松本教育長 異議なしと認めます。よって、中学校「美術」の教科用図書について、日本文教出版を採択します。続いて、「保健体育」について、説明を求めます。平岩学校教育課長。

学校教育課長 学校教育課長でございます。それでは、発行者番号順に説明いたします。

東京書籍です。授業構成は、「見つける」、「学習課題」、「課題の解決」、「広げる」になっています。48ページをご覧ください。「学習のまとめ」では、活用問題として書き込み欄の位置が、ページの変わりめに設定され、盛り上がっていることで書き込みにくくなっています。28ページをご覧ください。また、「中学生の性についての関心事」のグラフのように、棒グラフが縦向きに示されているため、比較がしにくいと感じます。

大日本図書です。授業構成は、「つかもう」、「話し合ってみよう」、「活用して深めよう」になっています。52ページをご覧ください。「悩んでいる友だちへのアドバイス」では、記入欄が大きく、たくさんの考えを書き込むことができるように設定されています。この「学びを活かそう」は、各章の最後に設定されており、書き込む欄も多く、学びを深める手立てとして活用できると考えます。

大修館書店です。授業構成は、「課題をつかむ」、「身につける・考える」、「学習のまとめ」になっています。56ページをご覧ください。「章のまとめ」では、学習内容のふり返りができますが、記入欄が小さく、書きにくくなっているという意見がありました。また、行数が少ない箇所もあり、多くの考えを書くことは難しいと感じます。

学研教育みらいです。授業構成は、「課題をつかむ」、「考える・調べる」、「まとめる・深める」になっています。68ページをご覧ください。「章のまとめ」では、知識の確認の問題が中心となっており、具体的な場面を取り出して自分の考えを書き込む箇所がありません。掲載されているグラフは33、書き込み欄は24と4者の中で一番少

なく、資料から特徴を読み取ったり、自分の考えを書いたりする学習の機会が限られます。

説明は以上です。中学校「保健体育」の教科用図書について審議していただき、いずれかの教科用図書の採択をお願いいたします。

松本教育長 説明は終わりました。これより質疑に移ります。発言はございませんか。

太田垣委員 中学生のような若い人達にとって、性教育は、繊細でシリアスにならなければいけないと思うが、妊娠についての表現など、各者の特徴はいかがでしょうか。

学校教育課長 妊娠については、大日本図書が「生命の誕生」の流れがわかりやすくなっております。36ページをご覧ください。「生命の誕生」の流れがわかりやすく、「受精後15週目の胎児」の写真から、立派な赤ちゃんの体、手足も顔もしっかり判別できるほどの成長が見て取れます。本市においても、早期妊娠が課題になっている昨今、中絶手術の期間内にあたる胎児の写真は、「命の尊さ」を考える資料として大いに活用できると考えます。

仲島委員 性のことでいうと、思春期の心の変化の対応はどの教科書にも記載があるが、大日本図書の38、39ページのグラフは分かりやすい。性的接触、性に関する病気のことを子どもたちが気にしていることや、性情報の入手経路のことが書いてある。また、「責任ある行動」という言葉とその内容がしっかり書いており、非常に良いと思う。

松本教育長 比較すると、多くの場合は、子宮の中に精子が入り、妊娠するという医学的な説明ですが、大日本図書は、その点の説明は小さく、受精後の過程に焦点を当て、見方が違いますね。

仲島委員 44ページには欲求のこともあり、性とは関係ないがアンダー・マネジメントのことも載っており良いと思う。また、コロナのこともあるので、感染に関する記述を比べると、感染の予防については、大修館書店がわかりやすいし、大日本図書や東京書籍は、細菌とウィルスの違いを書いている。それらも踏まえると大日本図書はバランスが良いと思う。ただ、LGBTのことは、学研教育みらいのみがしっかり載っている。LGBTについては、これからの時代大事なことなので、ある方が良いと思う。

松本教育長 先ほど説明のあった、ふり返りのところの扱いで、知識を問うところと活用するところと各者全く違いますね。大日本図書だけが、知識の活用を重視している気がしますね。

仲島委員 どの教科書も、性的接触についてはあやふやな表現なのに、コンドームのことはしっかり載っている。なにかちぐはぐさを感じる。そういうことをあやふやにすると子どもたちは興味本位で別のところで調べてくる。

松本教育長 性教育は本市の課題ですので、丁寧に扱わないといけませんね。防災についての記述はどうか。

学校教育課長 「自然災害による傷害の防止」の単元では、東京書籍、大日本図書、学研教育みらいの3者において、「阪神・淡路大震災」の写真が使われております。特に、大日本図書の103ページでは、「日頃から備えておくこと」、「地震が起きたときの行動」、「非常持出用品」がまとめられており、家族と一緒に確認することにも活用できるものになっております。

松本教育長 他者は充実していないのか。

学校教育課長 取り上げてはおりますが、災害後の次の行動について充実しているのが大日本図書でございます。

松本教育長 大日本図書が、学びを深める手立ての活用や、性教育の扱いも丁寧ですし、防災教育のこともあり優位ですかね。

松本教育長 他に質疑はございませんか。

松本教育長 質疑がないようですので、それでは、中学校「保健体育」の教科用図書について、採択します。これまでの審議を踏まえ、中学校の「保健体育」の教科用図書として、大日本図書を採択することよろしいでしょうか。

教育委員 異議なし

松本教育長 異議なしと認めます。よって、中学校「保健体育」の教科用図書について、大日本図書を採択します。続いて、「家庭科」について、説明を求めます。平岩学校教育課長。

学校教育課長 学校教育課長でございます。それでは、発行者順に説明いたします。  
東京書籍です。4、5ページにガイダンスがございますが、現行教科書よりも充実しており、見開き構成の5つの編で構成されています。全体を通して、写真や資料が大きいので見やすく、説明の文字も読みやすいです。特に127ページの「手縫い」や137ページの「ミシン」などの学習は、生徒が悩みそうところが詳しく記載されており実用的です。巻末には、防災・減災手帳が付いています。120ページの資料「衣服の取り扱い表示（旧）」が載っているのは「東京書籍」だけです。また、ページの下部分には、知識につながる「せいかつメモ」があり、学習のふりかえりができるように工夫されています。現行教科書からは、230、231ページに幼児のおもちゃやおやつの分野が見やすくなったり、住まいの写真が増えたりと改善されている面も多いです。

教育図書です。学習指導要領で用いる内容の3つの編で構成されています。右下にふりかえりの個所があり、自己評価をし、授業を通しての自分の学びを書くことがで

きます。資料が充実しており、写真や図、文字が大きいです。190ページをご覧ください。キャラクターの吹き出しなどで生徒の興味を引きつける工夫がされています。しかし、その会話などで気づきが多く書かれていますが、生徒が主体的に考える機会を失う要因になるのではないかと懸念されます。また、情報は多いですが、紙質が厚く、大判で重たいため、生徒にとって少し扱いづらいと感じます。

開隆堂出版です。3つの編で構成され、他教科との関連が重視されています。ページ下の部分には、「豆知識」があったり、学習内容に関連する読み物が随所に載っていたりと生徒の興味を引きつける工夫がされていますが、116ページの実習の写真や図の説明の文字が小さく、読みづらさを感じる分野もあります。SDGsやLGBTなど社会的な内容を取り上げており、また、単元の「学習のまとめ」の問題が発展的な内容になっているなど、情報量が多い反面、資料の説明や言葉が難しく、生徒の理解度によって差が生じる恐れがあります。262ページをご参照ください。

説明は以上です。中学校「家庭科」の教科用図書について審議していただき、いずれかの教科用図書の採択をお願いいたします。

松本教育長 説明は終わりました。これより質疑に移ります。発言はございませんか。

磯田委員 家庭科と言えば、調理実習も含め食育ですが、中学校給食も始まりますし、栄養などの観点も踏まえ食育指導はいかがか。

学校教育課長 東京書籍33ページ、教育図書81ページ、開隆堂出版82ページをご覧ください。東京書籍は、折り込みになっており、広げると栄養素やはたらき、摂取量、食品群がひとつの図にまとまっています。27ページと合わせて確認することができます。教育図書は、栄養素の特徴が、色や太字、写真で1ページにまとめられている中にポイントを押さえた情報が掲載されています。開隆堂出版は、絵を入れて視覚的に分かりやすく違いをまとめています。

太田垣委員 東京書籍の編が5、他者が3でまとめているが、多い方がよいのか。

学校教育課長 3年間を通して、3分野を学ぶことに関しては共通しています。東京書籍は、入学してすぐに「家族」の学習をするよりも、「衣食住の生活」「消費生活と環境」で自立に関する内容を学んだあと、それまでの学習を活かして、「家族・家庭生活」の共生に関する内容へとつなげて学ぶことができます。また「食育」から入ることは、成長期である中学生にとって、また、「あまっこ検診」や中学校での給食開始など「食育」を重視している本市にとって、「食育」が果たす家庭分野の役割を確かなものにすると考えます。

磯田委員 本市では、中学校給食が遅れていたこともあり、中学校の先生は、食育指導に慣れておられないかもしれませんので、その点教えやすい教科書の方が良いかもしれませんね。



3年間を通して「見方・考え方」、「技術の最適化」を意識して学習に取り組むことができるように工夫されています。

教育図書です。80ページをご覧ください。「見つける」→「学ぶ」→「振り返る」の3ステップで学習を進めることで、「見方・考え方」、「技術の最適化」をできるように設定されています。しかし、構成として活用ができますが、具体的に「見方・考え方」、「技術の最適化」という文言は示されておらず、生徒自身が「技術の見方・考え方」、「技術の最適化」を意識して学習に取り組むことができるかには疑問が残ります。

開隆堂出版です。14ページをご覧ください。「技術の見方・考え方」について、ガイダンスとして紹介されています。具体的な製品、電気ストーブの切り替えスイッチを取り上げ、「工夫」、「技術のしくみ」、「科学的な原理・法則」に分けて示されています。179ページをご覧ください。「技術の最適化」については、どのように実習に生かしていくのか実習例として示されています。どちらも詳しくは書かれているのですが、文章が主体になっており、生徒が文章を読んで理解するには難しいように感じます。

説明は以上です。中学校「技術」の教科用図書について審議していただき、いずれかの教科用図書の採択をお願いいたします。

松本教育長 説明は終わりました。これより質疑に移ります。発言はございませんか。

松本教育長 「技術の最適化」についての説明が多かったが、新学習指導要領に載っているのか。

学校教育課長 新学習指導要領では、技術科の目標は、「技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。」とされています。また、「技術の見方・考え方」とは、「生活や社会における事象を、技術との関わり視点で捉え、社会からの要求、安全性、環境負荷や経済性などに着目して技術を最適化すること」とされています。

徳山委員 プログラミング教育について、一番力を入れているのはどこか。

学校教育課長 3者とも「情報の技術」の分野で取り扱っています。東京書籍は、巻末にプログラミング学習に特化した「プログラミング手帳」が付いています。具体的なソフトの操作方法や専門用語が重点的に記載されており、生徒の学びの手助けになると考えます。教育図書は、別冊の「ハンドブック」でプログラミングの基礎技能についても部分的に記載されています。開隆堂出版では、巻末資料としてプログラミングが取り上げられていますが、ソフト「スクラッチ」のバージョンが1.4になっています。現在は、バージョン3.0が最新になっているため、古いバージョンだと、実際に扱っている画面との違いに生徒が戸惑うことが懸念されます。

松本教育長 産業に近い分野だから本市の公害問題等とも関連してくると思うが、持続可能な開

発とかの観点から充実したところはどこか。

学校教育課長 東京書籍は、巻末の見開きで、SDG s の 17 の目標や具体的な事例とともに紹介されています。本市では、総合計画を推進することで、SDG s の達成を目指しているところですので大いに活用できると感じます。

松本教育長 他者はどうか。

学校教育課長 他者ともに触れていますが、教育図書については、具体的な記述がありません。開隆堂出版は、関連のあるページに参考として資料が記載されていますが、SDG s の文言が示されておらず、意識しにくいと考えられます。

松本教育長 技術の最適化についての優位性や、SDGs の記載、プログラミング教育の充実からみたら東京書籍が適当ですかね。

松本教育長 他に質疑はございませんか。

松本教育長 質疑がないようですので、それでは、中学校「技術」の教科用図書について、採択します。これまでの審議を踏まえ、中学校の「技術」の教科用図書として、東京書籍を採択することでよろしいでしょうか。

教育委員 異議なし

松本教育長 異議なしと認めます。よって、中学校「技術」の教科用図書について、東京書籍を採択します。続いて、「英語」について、説明を求めます。平岩学校教育課長。

学校教育課長 学校教育課長でございます。現行の教科書の学校図書はもとより選考に入っておらず、どれを選んでも必然的に新しい教科書となります。それでは発行者順に説明いたします。

東京書籍です。「NEW HORIZON」をご覧ください。4技能5領域をバランスよく取り入れた活動が設定されており、図やグラフなどの視覚からの情報による読解力の育成に活用できる工夫が見られます。また1年生の12ページのように、小学校で重視された「small talk」を中学校でも継続して行うことができるよう配慮されています。巻末資料で「小学校の単語」という脚注をつけているのも特徴的です。一方、3年生の89ページからをご覧くださいと、本文、資料、発展的内容、図やグラフなどが情報過多とも捉えることができるため、本市生徒においてはポイントを押さえ整理し指導する工夫が必要となります。

開隆堂出版です。「Sunshine」をご覧ください。3年生の8ページをご覧ください。「SCENES」という単元のように、新出表現の使用場面が、漫画形式で一挙に示されており、また13ページの「RETELL」という単元で本文を自分の言葉に置き換え発表したり、14ページの「Interact」で自己表現したりと、導入から活動まで効果的

に行える、現行のものとは大きく異なる構成になっています。それを踏まえたうえで、毎単元、生徒に「RETELL」の活動をさせるには文章量が少し多く、構成も異なるため、生徒が混乱するのではないかという懸念があります。

三省堂です。「NEW CROWN」をご覧ください。1年生の74ページにある「USE」という単元では、「読むこと」、「話すこと」、「書くこと」に特化した、発展的な学習内容が充実しております。巻末ページには「CAN-DO リスト」も掲載されており、1年間で学んだ内容を振り返ることが可能です。一方で、Lesson ごとにある発展的な内容の比重が大きく、コロナによる臨時休業で、現1・2年生の授業時数確保が難しい状況を踏まえても、授業の進め方がやや難しいという面があります。

教育出版です。「ONE WORLD」をご覧ください。1年生の Lesson 1 から3までは新出の文法はなく、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」という活動が中心となっております。また、各 Lesson の「Part」ページには目標が示されており、目的意識を持って学習に取り組むことが可能です。しかしながら、生徒の発達段階に応じた文章量が設定されているとはいえ、Lesson 1 から3の中で、18ページと35ページにあるように、1年生の入門期であるにもかかわらず文章量が多く、苦手意識を持つ生徒にとっては、定着が難しいおそれがあります。

光村図書出版です。「Here We Go!」をご覧ください。各 Part 部分には、4技能に関する学習活動が設定されており、特に「聞くこと」→「話すこと」→「書くこと」の順に構成された言語活動は、言語習得理論に沿ったものとなっております。「聞くこと」に関しては、1年生の29ページにある、各 Unit の始まりの部分に設定された「Watch」という動画のように、Unit のストーリーを聞くことができるコンテンツが充実しているという大きな特徴がございます。また、各 Unit の構成が、「基礎基本の学習」→「発展的な学習」→「まとめ」の順に構成されており、発達段階に合わせて段階的な学習を進めることが可能です。現行の教科書の流れに近く、基礎基本をしっかりとおさえることができ、その上で巻末ページにあるような帯学習で行う即時的な会話練習を通して、主体的で対話的な授業作りが出来る構成となっております。さらには、小学校で学んだ言語材料が1年生の1・2学期に多く配列されていることから、小学校から中学校への学習において、生徒が無理なくスムーズに行えるよう工夫されております。全体的に少しやさしい難易度であるという指摘がありましたが、巻末資料が充実しており、特に3年生の教科書にある3つの長文は受験期の学習にも適していると考えられます。

啓林館です。「BLUE SKY」をご覧ください。生徒たちが、自分自身の問題として主体的に学習を進められるよう、身近で興味深い題材の選定が行われております。また、基礎的な知識・技能の習得を重点目標とし、年間指導計画にもゆとりを持たせ、学級の実態に応じた指導ができるよう配慮されております。その一方で、全学年を通してページ数が少なく、特に高校入試を控える3年生にとっては、内容は興味深いものの、3年生56ページにある「Read&Think」といった読み物教材が200語程度と、もう少し文章量が必要であると考えられます。

説明は以上です。中学校「英語」の教科用図書について審議していただき、いずれかの教科用図書の採択をお願いいたします。

- 松本教育長 説明は終わりました。これより質疑に移ります。発言はございませんか。
- 磯田委員 現在使っている教科書と各者の連携はどうか。
- 学校教育課長 光村図書出版は、各 Unit の構成が、「基礎基本の学習」→「発展的な学習」→「まとめ」の順に構成されており、現在の教科書である学校図書の学習の流れと一番近いです。
- 磯田委員 小学校との連携はどうか。
- 学校教育課長 小学校で学んだ言語材料が、なるべく 1 年生の早い段階で配列されているのが望ましいと考えます。例えば、小学校既習の助動詞「can」や不定詞「want to」、動名詞「like」「~ing」などは、特に自己表現で多く用いられることから、1 年生の 1・2 学期に配列されていれば、小学校で学んだことを活かし、順序立てて復習しながら、関連付けでの指導が可能となります。その点において、光村図書出版、東京書籍、教育出版などが適しており、文章量などを見ても、特に、光村図書出版は生徒が無理なく段階的に学べるものであるといえます。
- 仲島委員 小学校も光村図書出版ですよ。
- 磯田委員 連携は取りやすいということですね。
- 学校教育課長 その通りでございます。
- 太田垣委員 国際交流の観点から申し上げますと、自国の個性や文化を英語で語ることが非常に大切と思っており、光村図書出版と三省堂は、日本文化を語れるように内容が豊富に書かれていると思う。また、日本の教科書は受験を意識しているので、スラングとかは載せない中で、光村図書出版は最低限ですがスラングが入っており非常に実用的だと思う。
- 松本教育長 小学校の学習指導要領との関連で最も重要だと思うのは、書くばかりではなく、英語のシャワーを浴びるといった「聞くこと」にシフトしているので、その観点からは各者の強みどうか。
- 学校教育課長 「聞くこと」については、扉絵のページまたは本文理解とともに学習できますが、中でも光村図書出版が、全学年において「聞くこと」の学習を最も多く取り扱っています。「聞くこと」の活動は、扉絵のページにある音声と動画で学習ができます。各扉絵にはすべてに動画があり、これから始まる Unit の題材を確認できるとともに、生徒の興味関心を引き付けるものになっています。また、活動を行う一番初めに「聞くこと」の学習が可能であり、「聞くこと」から入る学習活動は、言語習得理論に沿ったものであると考えます。

松本教育長 中学校の英語の先生は、ジャパンイングリッシュは話せると思う。デジタルコンテンツを利用してネイティブイングリッシュの発音を多く聞けるのは光村図書出版と思うが、その点太田垣委員の評価はどうか。

太田垣委員 私自身の経験からですが、「話す」と「聞く」を分けて考えると、日本人はどれだけトレーニングしても発音が上達しない民族です。元々構造が違い、発音ない音をたくさん喋っている、RやLはもともとできないので、乗り越えることができない。日本の英語教育においては話すことはあきらめて、一般的な侍イングリッシュを目指すことで良いと思う。リスニングだけは理解しないと侍イングリッシュもできないので、そこは重点的に取り上げられている教科書が重要と思います。

松本教育長 他に質疑はございませんか。

松本教育長 質疑がないようですので、それでは、中学校「英語」の教科用図書について、採択します。これまでの審議を踏まえ、中学校の「英語」の教科用図書として、光村図書出版を採択することよろしいでしょうか。

教育委員 異議なし

松本教育長 異議なしと認めます。よって、中学校「英語」の教科用図書について、光村図書出版を採択します。続いて、「特別の教科 道徳」について、説明を求めます。平岩学校教育課長。

学校教育課長 学校教育課長でございます。それでは、3年生の教科書を中心に、発行者順に説明いたします。

東京書籍です。162ページご覧ください。各題材の冒頭に「みんなで考える観点」という部分で主題がはっきりと示されています。学びの目的を明確に示し、内容の定着をはかる上では効果的な配慮であると感じます。また、巻末に心情楕円やホワイトボード用紙などの付録が充実しており、生徒が自分の考えや思いを他者と交換する際に活用すれば、授業が円滑に進行できるように工夫されています。

教育出版です。コラムなどが少なく、学習内容の学びが焦点化されている点が特徴的です。工夫を凝らした本文では理解に時間がかかる生徒たちにとって、大きなメリットであると感じますが、本文を容易に理解できる生徒にとっては、自由な発想のきっかけになる部分が少ない印象は拭い去れません。

光村図書出版です。2、3ページをご覧ください。掲載作品が3つのシーズンに分けられ、順序立てて掲載されており、学びの道筋が明確である点が特徴です。また、小学校で学習した教材が掲載されており、過去の自分との対比を行うことで、自身の変化や成長を感じることができる効果的な仕組みになっています。

日本文教出版です。目次をご覧ください。すべての発行者が、「いじめ」に関する題材は取り上げていますが、日本文教出版は、特に「いじめ」に関する題材が多いこと

が特徴です。社会問題として重要な題材ではありますが、道徳科として学ぶ内容項目は22項目に渡っており、それらをバランスよく学習するという観点からみると、少し偏りがあるように感じます。

学研教育みらいです。3年生12ページをご覧ください。主題、発問が少なく、授業を展開する上での自由度が高い印象を受けます。また、「深めよう」という対話形式の補助資料が特徴的ですが、補助資料であるため、あくまで本文で内容項目を押さえた上の利用になります。その場合、1コマ50分の授業時間を考慮すると、少し時間を持って余す懸念があります。

廣済堂あかつきです。別冊をご覧ください。内容が非常に充実した別冊ノートがついていることが特徴的ですが、教材ごとのワークシートといった内容ではなく、内容項目の理解を助けるものであり、1時間の授業で扱うには時間的に難しいように感じます。

日本教科書です。掲載されているコラムが少ないなど、全体として非常にシンプルな作りになっていること、掲載作品の多くが教員の作成した文章であることが特徴的です。また、他社とは異なり、UDフォントが使用されていないことやQRコードが備わっていないことが特徴です。

説明は以上です。中学校「特別の教科 道徳」の教科用図書について審議していただき、いずれかの教科用図書の採択をお願いいたします。

松本教育長 説明は終わりました。これより質疑に移ります。発言はございませんか。

磯田委員 道徳の教科書のQRコードの使い方は、各者どのような使い方がか。

学校教育課長 QRコードについては、日本教科書以外の発行者すべてにあります。他者が目次や裏表紙にQRコードが記載され、関連サイトや動画、画像等が確認できます。光村図書出版は、各対応ページにQRコードが記載されており、他者と同じように関連サイトや動画につながるようになっていきます。唯一、第一線で活躍する声優や落語家による朗読音声収録されており、生徒の興味関心をひくとともに、読むことが苦手な生徒への支援にもつながると考えます。ページは14ページをご参照ください。

磯田委員 声優や落語家の個人のサイトへアクセスに繋がることはないか。

学校教育課長 道徳については、アクセスすることはございません。

徳山委員 現行の教科書の課題など現場からの意見はあったか。

学校教育課長 現行教科書の課題としては、作品タイトル上に主題があるが、内容項目と一致していない題材もあり、1時間の授業で授業が意図する視点と合わず難しさを感じる場面が見られました。また、「自分に+1」で、主題に迫る発問が生徒の気づきよりも先に提示されていることで、本来、子どもたちの気づきや他者との意見交換の中からうまれるべき自由な発想が制限されてしまうとの意見がありました。

仲島委員

今回は、道徳ノートのある教科書を採択したが、ノートを使って先生が評価するとすると生徒は良いことを書くのです。ノートがあると良いふうにしかならないし、ノートと主題があると誘導的になるから良くないと言ったが、「中学校道徳の初めての教科書であることから、授業での道筋がある方がやりやすい。」と説明があった。それが今回は、ノートは使いにくい、活用しにくいとなったと思うので一歩前進したと思う。日本文教出版が悪いのではなく、道徳は、子どもからするとわかったら面白くない。道徳の研究者によっては、主題を分かって授業しなければならないと言う人と、見せない方が良いと言う人と2通りいる。主題があると子どもは考えても、そっちに持っていこうとする先生の意図を見抜きます。そうすると本音は出ないと思う。私は、主題の表示がない出版社の方が良いと思うが、道徳に不慣れな先生は授業を進めにくいのかもかもしれません。話を戻しますが、道徳は「教材を読む道徳」ではなく「考え議論をする道徳」にしないといけないとなって「特別の教科」になり「教科書」ができたはずなのに、どの会社の教科書も読み物教材が並ぶ「教材を読む道徳」になっている。多様性という割に横並びである。また5社の教科書は、教材文(単元)が授業時数(年間35時間)とおなじ35になっているが、すべて1時間では終わるとは限らない。たとえ1時間教材であっても議論が白熱して延長することもあるし、むしろそんな道徳授業こそ大事であると思う、その点、東京書籍と光村図書は、主の教材は28と付録7、主教材31と付録4となっており、少し余裕を持たせている点を評価できると思う。特に、光村図書の付録4は小学校の時にも学習した教材で、とても面白い内容です。道徳の指導要領では、教えないといけないのは22項目なので、35時間すべて教科書の教材だけでなく、兵庫県には、道徳の副読本「心かがやく」や中学生用教育資料「きらめき」という教材もあるので、目の前の子どもの実態を見ながら教材を選んでいけば良いと思う。「教科書を教える」ではなく「教科書で教える」でないといけない。それらを考えた時の教科書としては、本当は主題を抜いてほしいが、いきなりは難しいと思うので、光村図書がちょうど良いと思う。

磯田委員

小学校と同じ発行者でなくて良いのか。

学校教育課長

小学校と中学校の教科書は、同じ発行者であっても構成が異なっているものもありますので、小中学校で同じ教科書会社の教科書を使わなければならない、という視点ではなく、小中それぞれの実情に合った教科書が良いと考えています。

松本教育長

他に質疑はございませんか。

松本教育長

質疑がないようですので、それでは、中学校「特別の教科 道徳」の教科用図書について、採択します。これまでの審議を踏まえ、中学校の「特別の教科 道徳」の教科用図書として、光村図書出版を採択することによろしいでしょうか。

教育委員

異議なし

松本教育長 異議なしと認めます。よって、中学校「特別の教科 道徳」の教科用図書について、光村図書出版を採択します。続いて、「特別支援学級、あまよう特別支援学校 小学部・中学部の附則 9 条本」について、説明を求めます。平岩学校教育課長。

学校教育課長 学校教育課長でございます。

24 ページから 32 ページをご覧ください。特別支援学級附則 9 条本について、今年度、113 冊報告いたします。そのうち 5 冊が新たに報告するものになっております。報告書には網掛けしております。在籍人数の多い、知的障害や自閉・情緒障害の児童生徒を想定して、多様な特性をもつ児童生徒に対し、学習上の困難を軽減させる図書や、生活体験の不足を補う図書、効果的に学習に取り組むことができるよう興味関心を持ちやすい図書等を中心に選定しております。

33 ページから 43 ページをご覧ください。あまよう特別支援学校小学部附則 9 条本について、今年度、142 冊報告いたします。そのうち 39 冊が新たに報告するものになっております。報告書には網掛けしております。知的障害や情緒障害を併せ持つ、重度重複障害の児童生徒を対象として選定しております。今年度加えた冊数が多くなっていますが、発達段階の違いの大きい子どもたちが、より適した図書を使えるように選択の幅を広げています。今年度は、算数・社会・音楽・図工・外国語で活用できそうな図書を中心に選択しております。具体的には、絵が鮮明であったり、子どもが興味をひく内容、文字がはっきりしていてわかりやすい、まんが調で明るい雰囲気である、生活を豊かにし、自立を助ける内容であるものなどを加えております。

44 ページから 51 ページをご覧ください。あまよう特別支援学校中学部附則 9 条本について、今年度、102 冊報告いたします。そのうち 20 冊が新たに報告するものになっております。報告書には網掛けしております。今年度は、視力の回復が難しい生徒が入学しているため、点字の図書を多く選択しております。また、小学部から入学をしてきている生徒を対象に、計算、漢字に力を入れるためにドリル等を多く取り入れております。

説明は以上です。特別支援学級、あまよう特別支援学校小学部・中学部の附則 9 条本の教科用図書について審議していただき、いずれかの教科用図書の採択をお願いいたします。

松本教育長 教育委員会が採択することになるが、障がい種や児童、生徒の個々の状況に応じて考えるべきものであるため、一つ一つを適切か判断することが難しいことから、専門部会の意見を尊重し、「特別支援学級、あまよう特別支援学校小学部・中学部の附則 9 条本」として、これらの一般図書を採択することでよろしいでしょうか。

教育委員 異議なし

松本教育長 異議なしと認めます。よって、「特別支援学級、あまよう特別支援学校 小学部・中学部の附則 9 条本」として、これらの一般図書を採択します。

松本教育長 では、最後に「議案第 46 号」を、原案のとおり可決することに異議ございません

か。

教育委員 異議なし

松本教育長 異議なしと認めます。よって、「議案第46号」は原案のとおり可決いたしました。

松本教育長 以上を以って、本日の日程は全部終了いたしました。  
これをもちまして、尼崎市教育委員会7月定例会を閉会といたします。

以上、尼崎市教育委員会7月定例会の議事の全部を終了したので、午後10時40分、教育長は閉会を宣した。

尼崎市教育委員会7月定例会において、以上のとおり議事が行われたことを記録します。